

今の職場で仕事を始めてはや3年目になります。ということは講義も3年目。同じ話を三度目となるとさすがに飽きてくるんですね。講師が飽きると学生にも伝わるものですし、ここは一つ先生がんばっちゃうぞと、もろもろ抱えた原稿のことは脇において、そうだ毎週一つは新しい論文を紹介しようそうしようと思気込んだのが4月のことでした。それで取り上げたのが風呂と寂しさの研究ですよ。

温かいモノを持つと温かい気持ちになるって話があるんですね。実験参加者に「ちょっとこれ持っていてもええます？」ってホットコーヒーを渡す。それから「かくかくしかじかの人物についての印象を答えて」って頼むと、なんか温かい人かなあって印象を持ってしまうという話がある。マジかと思うんですが、物理的温かさと社会的温かさとで脳の同じ場所が活性化するなんて話を聞いちゃうとコロッと信じちゃうわけです。脳みそがピカピカ光ってるとどうしても。

それで、その話をやったバージさんのグループ (Bargh & Shalev, 2012) が「寂しいと風呂に入るじゃろ」って論文を出して、これはオモシロイ。どんくらい寂しいですか？ 風呂 (またはシャワー：以下同じ) には週何回入りますか？ 一回の長さは？ 冷水ですか熱湯ですか？ って質問したら、寂しい人ほどよく風呂に入るし、長く入るし、熱くするって言うんです。いやこれは間違いなく受ける。これで学期末の授業評価は満点だねとか邪な心を持ってしまったのです。

言い訳をさせていただきますと。ちょっとアレだなあとは一瞬思ったんですよ。サンプルサイズが小さいなあって。最初の回答者が大学生51人。次に大学周辺の一般人にも質問してるんですが、こっちもせいぜい41人。今や南米の大河をメカトルコ人が数百数千の大群で泳ぐご時世ですから、こんな単純な質問なのになん

で人数これだけ？って思いましたよそりゃ。でも邪な心がね、勝ってしまったのです。お陰で大受け授業は大成功。

正直参りました。これまた過ぎ去った原稿のメ切のことを脇において SNS とか眺めていたら、例の研究は再現できずって話が流れてきたのです。これまた SNS 経由で教えてもらった論文草稿を読み始めたら、のっけにこれです。

...we learned that 46 of 51 participants (90%) reported taking less than one shower or bath per week. (Donnellan, et al., Emotion, in press より)

バージたちの生データを見せてもらったら妙だったって紹介しているところなんです。それでたぶん「(バージたちの研究の) 回答者51名のうち、46人(9割)が風呂に入るのは週一回未満と答えていた」って書いてあるんだと思うんです。思うんですけど、そりゃアメリカ人は日本人ほど風呂には入らないだろうけど、でもこんなことあるんかって。たまたま週イチも風呂に入らない連中が46人も集まることなんてあるのかって。なんか読み間違いしてるんじゃないかと自分の英語力にすっかり自信をなくしてしまいました。だからご質問には答えることができません。溜息。

※追試が行われたのはバージ論文の四つの研究のうちの研究1。「寂しさ」と「風呂の長さ」には弱いながらも正の相関がありましたが、「風呂の頻度」とは負の相関。合わせ技で無相関とのこと。むむむ。



Profile — 平石 界

東京大学大学院総合文化研究科博士課程退学。東京大学助手・助教、京都大学助教を経て、2012年4月より現職。博士(学術)。専門は進化心理学。